

神戸ポートタワー50年史

一般社団法人 神戸港振興協会



ごあいさつ

神戸ポートタワーが開業から50周年を迎えました。この間、会員の皆様をはじめ、関係各界からいただきましたご厚情に謝しまして心よりお礼申し上げます。

神戸ポートタワーは、昭和34年に当時の当協会の会長であり、また神戸市長でありました原口忠次郎氏が、ロッテルダム港を視察しました際に、港を一望におさめることができる素晴らしいタワーを見て、神戸港にもこれに勝る魅力あるタワーを建設したいとの思いから計画がすすめられ、昭和38年11月21日に開業いたしました。

開業当時は、ポートアイランドも神戸空港もちろんなく、まだ埋め立てられていなかったメリケンパークあたりの海面には多くの船（はしけ）が停泊していました。また、中突堤は旅客船の発着センターとして多くの方が訪れていました。

その後、日本経済の発展とともに港域の拡大や港の近代化にも対応した神戸港は、昭和48年から6年連続でトン数ベースでのコンテナ貨物取扱量世界第1位を記録するなど飛躍的な発展を遂げました。

そして、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、神戸港に壊滅的な被害をもたらしましたが、多くの方々からのご支援をいただき、わずか2年余で復興を成し遂げることができました。

しかしながら、生産拠点の海外シフトによる国内産業の空洞化が進むなかで、アジア諸港の急速な進展もあり、近年、神戸港はその地位を低下させるなど、取り巻く環境が大きく変化しております。

現在、基幹航路の維持・拡大や港湾サービスの向上など、国際コンテナ戦略港湾の取り組みが神戸市・神戸港埠頭株式会社一体となって推進されているほか、市民が海と船に親しめる都心ウォーターフロントの創造や客船誘致にも努めているところであり、これまで50年の永きに亘って神戸港とともに歩んできた神戸ポートタワーには今後の神戸港の躍進についても、いつまでも見続けて欲しいと思います。

また、ポートタワーは神戸港を一望できることに加え、真紅の鋼管パイプを「つづみ」型に組み合わせた優美な構造が、隣にあります神戸海洋博物館とともに「ミナト神戸」のシンボルとして、市民はもとより多くの観光客の皆様にお越しいただいており、今後ともより一層親しんでいただきたいと思っております。

神戸港を取り巻く諸情勢には大変厳しいものがありますが、当協会といたしましても、神戸市をはじめ官民一体となって進める国際競争力のある港づくりやウォーターフロントの賑わいづくりの一翼を担ってまいりたいと考えております。

今後とも神戸港が発展してまいりますことを祈念し、皆様方の倍旧のご支援とご指導をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

一般社団法人 神戸港振興協会
会長 鵜崎 功



神戸港全景



メリケンパーク

神戸ポートタワー50年のあゆみ

神戸のランドマークとして全国に知られている「神戸ポートタワー」が、去る11月21日に開業50周年を迎えた。

神戸ポートタワーは、神戸港振興協会の初代会長（神戸市長）であった故原口忠次郎氏が「わが国の経済や産業を発展させるためには、海運や貿易の伸長を図る必要があり、その基盤となる港湾の役割は重要度を増しており、港湾の急速な整備拡充が求められている。日本を代表する神戸港の機能や施設の状況を一般の方々に見ていただき、港湾が皆さんの生活にどんな繋がりを持つかを知り、神戸港の発展に関心を持っていただくとともに、神戸港の振興を図りたい」との思いから、ロッテルダム港を一望できる「ユーロマスト」にヒントを得て「世界にも類を見ないユニークなデザインで神戸市民のシンボルとなり、且つ他都市のタワーに負けないもので世界的な価値があり、しかも美しい神戸の街にマッチしたもの」という厳しい諸条件の中で、構造的に非常に優れた鋼管構造の優美な2次曲線断面を持つ「つづみ型」のデザインが決定された。



日々高さを増す「神戸ポートタワー」



ユーロマスト



建設中の「神戸ポートタワー」

昭和37年8月31日に「神戸港開港90周年事業」として神戸ポートタワーの起工式を挙行し、昭和38年11月20日に竣工、翌21日に開業した。

世界に誇りうる斬新なデザインの「神戸ポートタワー」の総工費は約4億5千万円で、タワーとしては全国で初めて溢光照明による夜間ライトアップを行い、塔頂部周囲には「PORT OF KOBE」のネオンサインを配し、名実ともに神戸のランドマークとして多くの方々から愛されて来た。

開業以来半世紀の間、中突堤から神戸ポートタワーは、在来船の船混みや海面を覆い尽くす2,130隻の舢、摩耶埠頭の建設やポートアイランドの造成、コンテナ化の始まりや神戸開港百年祭、南米への移民船六甲アイランドの造成、オイルショック、そして、タワー眼下のメリケンパークの造成や神戸開港120年祭、阪神・淡路大震災による被災と復興、ポートアイランド2期や神戸空港の造成、第1回「海フェスタ」KOBE～海の祭典～など、神戸の様々な出来事や港の発展の歴史を見つめてきた。その入場者は延べ2,312万人にも及ぶ。

平成21年11月には全面リニューアル工事を行い、新たに7,040個のLED照明による40パターンのイルミネーションを設置し、展望5階の天井には1,500本の光ファイバーを埋め込んで季節の星座を演出するほか、展望1階床面にフロアの一部を切り取って強化ガラスをはめ込んだスカイウォークを2ヵ所新設。また、地上1階トイレをオストメイト化するとともに展望5階にもトイレを新設した。その他にも展望2階の厨房施設を撤去して全周を展望スペースに拡大したほか、塔内及びタワー周辺の施設案内を日本語、英語、中国語、韓国語の4か国表記に変え、エレベーター内の案内放送にも英語案内を追加した。



昭和38年11月 神戸ポートタワー開業当時の神戸港

さらに、タワー内装の塗り替えや階段の補修と塗装、赤色の鋼管フレームを建設後初めての剥離再塗装を行うなど、全面的に手を加え装いも新たに更なる魅力アップを図っている。

平成23年11月の「神戸ポートタワーの開業50周年記念事業」はロゴマークの作成とそのロゴマークをあしらったポスターやチラシを作り、観光案内所等を通じて広く配布すると共に、フェイスブックやメールマガジンなどインターネットを使って広報した。

また、記念グッズとしてメダルやストラップ、「キャプテン・タワー君」のピンバッジやマグカップ、シールなどを作成し、タワーや周辺の土産物店で販売している。あわせて、タワーでは「50周年記念スタンプ」を設置したり、大型の「50周年旗」を高さ108mの塔頂ボールに掲揚することで、50周年をアピールしている。



神戸ポートタワー50周年旗

50歳の誕生日にあたる平成25年11月21日、神戸ポートタワー開業50周年のオープニングセレモニーでは、鶴崎功神戸港振興協会会長、久元喜造神戸市長、佐伯邦治兵庫県港運協会会長、森本啓久神戸海事広報協会会長、渡辺真二メリケンパーク協議会会長の5名がタワーの南入口前でテープカットを行い、続いて通天閣の「ビリケンさん」、京都タワーの「たわわちゃん」、空中庭園展望台の「そららちゃん」、神戸ポートタワーの「キャプテンタワー君」の関西4タワーのマスコット・キャラクターによってくす玉が割られ、同時に神戸市立みなと保育所の園児らによる赤色・白色・青色各50個ずつの風船が放空された。

記念イベントとして、「ポートタワーのある風景」もしくは「ポートタワー展望階で撮影した風景」をテーマにした「神戸ポートタワー開業50周年記念フォトコンテスト」を実施。応募作品108点から厳正な審査の結果、最優秀賞1、市長賞1、優秀賞5、佳作10、入選20作品の合計37作品が選ばれ、11月21日から1月10日まで神戸ポートタワーの展望2階に展示している。

また、地上3階でも「神戸ポートタワー50年の歩み」と題して開業時から今日までのタワーの歴史を紹介するパネル展



夜間のLED「レインボー」パターン

示と50年前と現在の諸物価を比較した「50年、今昔!あの頃は…」というタイトルでイラストパネル展を開催しているほか、12月6日まで第五管区海上保安本部による「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の入賞作品展も同時開催した。

11月20日～22日までの3日間は、神戸ポートタワーの入場料を大人150円、小人80円という開業時(50年前)の料金で営業したほか、開業年生まれの50歳になるお客様は無料とし、さらに昭和38年11月21日生まれの方には50周年記念ラベルの「神戸ワイン」をプレゼントした。因みにイベント期間中(20日～24日)のタワーへの入場者数は、15,444人で、うちタワーと同年的お客様(無料)が954人、同じ誕生日の人は33人が入場した。

さらに、展望3階の「スカイラウンジ」でも21日から24日までの4日間に亘って日替わりで先着50名に対してパウンドケーキや珈琲などが60円、ハヤシライスやカレーが80円という50年前の料金で提供され、別館売店でも千円以上のお買い物をした方には各日先着50名に神戸パンダサブをプレゼントした。また、ポートタワー南側広場では21日から4日間、様々なジャンルのアーティスト54組を迎えてステージイベントを行い総観客動員数は4日間で2万人を数えた。

ポートタワーの開業50周年を祝うかのような晴天にも恵まれ、50周年記念事業は成功裡に終了した。

神戸ポートタワー開業50周年記念イベントを開催！

平成25年11月21日（木）～11月24日（日）



11月21日 神戸ポートタワー開業50周年記念セレモニー
(テープカット)



11月21日 関西4タワーのマスコットキャラクターのくす玉割りとみなと保育所園児による風船の放空



11月21日 関西4タワーのマスコットキャラクターが集合



11月23日 ステージ・イベント (KOBerrieS ♪)



11月23日 ポートタワー「フォトコンテスト」表彰式

神戸ポートタワー開業時の模様



昭和38年11月20日 竣工セレモニー
有岡副会長によるテープカット



昭和38年11月20日 神戸ポートタワー竣工祝賀会で挨拶する原口会長



中突堤に設けられた竣工祝賀アーチ



当時は市内に高層建築物はなく展望台から360度のパノラマ風景が広がる

神戸ポートタワー50 年年表

1958 年

昭和 33 年 9 月 2 日 社団法人神戸港振興協会設立。

1961 年

昭和 36 年 3 月 3 日 神戸国際港湾博物館起工。(中突堤)

1962 年

昭和 37 年 8 月 13 日 神戸開港 90 周年事業として神戸ポートタワー起工。

1963 年

昭和 38 年 4 月 25 日 神戸国際港湾博物館(3 階部分)竣工、26 日開館。
入兵庫県登録博物館の第 1 号で建設費約 6 千万円。
館料は大人 50 円、小人 30 円。

開館時間は 9 時～17 時(年中無休)

展示面積 1,100 m²

5 月 3 日 鋼管パイプ等の塗装工事開始。塗装面積 3 万 m²、
塗料約 10 トン使用。(～11 月 5 日)

9 月 30 日 「神戸ポートタワー音頭」発表、ドーナツ盤レコード作成。

A 面が「神戸ポートタワー音頭」で甲野八郎作詞、神戸港振興協会補作、上原げんと作曲、神戸一郎(歌手)、コロムビア合唱団(バックコーラス)、コロムビア・オーケストラ(演奏)、B 面は「神戸ポートタワー行進曲」。

11 月 20 日 神戸ポートタワー竣工、21 日開業、総工費約 4 億円(周辺工事含め 4 億 5 千万円)、営業時間 9 時～21 時まで。年中無休、入場料は大人 150 円、小人 80 円。一番目の入場者は神戸市在住の村上光雄さん。当時、ガラス張りのエレベータは「ヌードエレベータ」と呼ばれていた。



昭和 40 年のパンフレット



1964 年

昭和 39 年 1 月 1 日 「初日の出展望」イベントを実施。(以後、毎年実施。)

2 月 4 日 「節分の日豆まき」を実施。生田神社の福豆 500 袋を来場者に
プレゼント。

4 月 第 15 回日本建築学会「作品賞」受賞。

4 月 24 日 昭和 38 年度(社)照明学会照明普及会賞受賞。

5 月 7 日 秩父宮妃殿下がご来塔。

5 月 10 日 「母の日」イベントを実施。来場されたお母さん 550 人
に赤いカーネーションをプレゼント。(以後、毎年実施。)

7 月 28 日 映画俳優の森繁久弥氏が前兵庫県知事坂本勝氏とともに来塔。

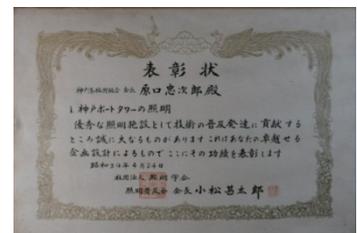
8 月 14 日 第 1 回「神戸港殉職者慰霊『神戸ポートタワー盆踊り大
会』」をポートタワー南側で開催。神戸市婦人団体協
議会から 100 人が参加、観客約 2 千人。以後、昭和 51 年ま
で毎年実施。(～16 日)

9 月 10 日 第 15 回日本建築学会「作品賞」、昭和 38 年度(社)照明学会「照明普及会賞」を受賞した記念に神戸ポ
ートタワーの完成記念誌「神戸ポートタワー」(216 ページ)を作成。(非売品)

9 月 12 日 高松宮殿下がご来塔。

10 月 12 日 入場者 100 万人達成。100 万人目の達成日を当てる懸賞募集に 2,221 通の申し込みがあり、正解は 130
通。13 日にタワーの展望 4 階で「海の女王」による抽選会が行われ、1 等は「サンヨーテレビ」2 名。2
等は「サンヨーランジスタラジオ」8 名。

11 月 21 日 神戸ポートタワー開業 1 周年事業として、先着 10 名に地球儀、2,000 名に神戸ポートタワーの写真入り下
敷きをプレゼント。また、神戸ポートタワー図画コンクールの入賞作品 154 点を博物館に展示。



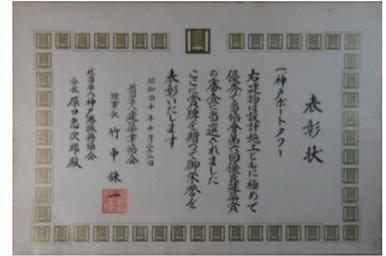
神戸ポートタワー盆踊り大会

1965 年

昭和 40 年 4 月 神戸の海の玄関に相応しく日の丸の旗を掲げるため、塔頂に 5 m の旗竿を設置し、タワーの高さを 103 m
から 108 m に変更。

1965年

- 昭和40年 7月15日 7月15日～8月31日までの間、サマータイムを導入し営業終了時間を22時まで1時間延長。
- 8月14日 三笠宮殿下ご夫妻、長男寛仁様ご一行がロイヤル・インターオーシャンの客船「ボイスベン」に横浜港からご乗船。名古屋港を經由して神戸港で下船されポートタワーへご来塔。
- 10月22日 (財)建築業協会 第6回「優良建築賞」受賞。
- 11月21日 神戸ポートタワー開業2周年事業として、中突堤歩道沿いに桜20本を植樹。11月21日～12月20日までの入場者から抽選で1等が関西汽船「こはく丸」で別府温泉1泊2日(ペア3組)、2等は南海汽船の水中翼船「つばさ丸」で白浜温泉(ペア5組)。また、川西英画伯の版画を300人にプレゼント。



1966年

- 昭和41年 4月5日 入場者200万人達成。
- 5月5日 「こどもの日」イベントを実施。先着800名の子供達に紙製「鯉のぼり」やおもちゃの「水車」をプレゼント。(以後、毎年実施。)
- 6月10日 「時の記念日」イベントを実施。6月中のポートタワー入場者に高級電気時計が当たるラッキーカードを配って7月1日に「海の女王」による抽選会を行い、15,427枚の中から1等5名、2等100名が当選。
- 11月19日 神戸ポートタワー開業3周年事業として、博物館屋上から神戸市立みなと保育園の園児43人を迎えて、「坊ちゃん、嬢ちゃん、ポートタワー万歳！」を合図に景品券付風船800個を放空。23日までの5日間、毎日先着300名にスピードくじを実施。5名にトランジスタラジオや飾人形をプレゼント。



ポートタワー下敷き

1967年【開港100年】

- 昭和42年 3月16日 第2回目の神戸ポートタワー塗装工事。塗装面積1万3,342㎡、塗料約9.4トン使用。総工費870万円。5月31日完工。
- 5月6日 神戸開港百年事業として、6日、13日、15日、20日、27日の5日間にわたって、1日2,000人ずつ合計1万人を対象に神戸港遊覧、神戸ポートタワー、神戸国際港湾博物館の無料見学会に招待。
- 5月8日 神戸港で第5回国際港湾協会総会を開催。神戸ポートタワーが50円記念切手の図柄に採用。
- 5月31日 神戸開港百年事業として、神戸ポートタワー下層4階増築工事竣工。
- 11月19日 入場者300万人達成日を当てる懸賞募集を30日まで実施。3,068通の申し込みがあり正解は2,803通。12月4日に「海の女王」による抽選会を行い、1等サンヨーカラーテレビ「プロト10」1名、2等サンヨーカードニカラジオ2名、3等サンヨーカードニカカミソリ「エック」5名を当選者にプレゼント。
- 11月24日 入場者300万人達成。

1968年

- 昭和43年 4月1日 神戸ポートタワーが全日本タワー協議会に入会。東京タワー、名古屋テレビ塔、通天閣、横浜マリンタワー、京都タワーの5タワーに新たに神戸ポートタワー、別府タワー、博多パラダイス、大阪タワー、さっぽろテレビ塔、五稜郭タワーの6タワーが加わり11タワーになった。
- 6月1日 神戸ポートタワーの入場料金改定。タワー下層4階の増築、食堂の定員80人から200人への拡張、1階売店の新設、博物館のフロア増設、維持管理費の高騰などにより、大人200円、小人100円とし、小・中・高の団体料金は据置き。小学生(30人以上)50円、中・高生(30人以上)100円。博物館のみ大人50円、小人30円。
- 9月10日 (社)神戸港振興協会設立10周年、神戸国際港湾博物館・神戸ポートタワー開業5周年イベントとして、市内の小・中学生を対象に「神戸港」「神戸ポートタワー」「神戸国際港湾博物館」をテーマに作文を募集。10月12日に最優秀賞1名、優秀賞7名、佳作7名を表彰。
- 11月21日 神戸ポートタワー開業5周年イベント「おたのしみプレゼント」を24日まで実施。「みかん狩り」50名など豪華賞品の当たるスピードくじのほか、先着250名に記念品をプレゼント。期間中に1万人が来場。

1969年		
昭和44年	9月10日	入場者 400万人達成。
	12月1日	2月1日までの2か月間、タワーの営業時間9時～21時を9時～19時に短縮。
1970年		
昭和45年	11月14日	神戸ポートタワー開業7周年イベントとして30日まで「秋のポートタワーまつり」を開催。期間中、テレビ等の当たる「タワークイズ」や「タワー写真展」、映画「巨人の星」や「いじわるばあさん」の上映など多彩な行事を実施。22日には展望4階で新人歌手みきめぐみ、11PMホステスの笹田実、小曾根実によるピアノ演奏とサイン会を開催。サイン会の収益金は、大阪読売新聞社を通じて歳末助け合い運動に寄附。
1971年		
昭和46年	7月29日	入場者 500万人達成。
1972年		
昭和47年	8月20日	第3回目の神戸ポートタワー塗装工事。塗装面積1万3,448㎡、塗料約5.2トン使用。総工費1,750万円。10月15日完工。
1973年		
昭和48年	1月2日	第1回「きき酒大会」を開催。灘の酒造会社が出品。(以後、5年連続実施。)
	7月30日	入場者 600万人達成。
	11月1日	第1次オイルショックの影響で、タワー塔頂部の「PORT OF KOBE」のネオンサインを消灯。
1974年		
昭和49年	6月1日	神戸ポートタワーの入場料金改定。大人300円、高校生200円、小・中学生100円。タワー入場者は博物館無料。
1975年		
昭和50年	1月1日	「初日の出展望」イベントを実施したが、曇天で初日の出は見れなかった。
	4月1日	神戸ポートタワーの入場料金改定。大人400円、高校生250円、小・中学生150円。タワー入場者は博物館無料。学校団体は高校生125円、小・中学生75円。一般団体料金も改定。
	10月7日	入場者 700万人達成。
1977年【開港110年】		
昭和52年	5月7日	第4回目の神戸ポートタワー塗装工事。塗装面積1万8,662㎡、塗料約9.3トン使用。総工費3,000万円。7月5日完工。
1978年		
昭和53年	3月20日	入場者 800万人達成。異人館ブームで昭和51年度から入場者数が増加傾向となる。
	7月16日	神戸ポートタワーの営業時間を変更。7月16日から8月31日まで夏期時間として9時～22時を7月16日から7月31日は9時～21時に、8月1日から8月31日までは9時～22時に変更。
	7月20日	昭和48年11月1日に第1次オイルショックでタワー塔頂部の「PORT OF KOBE」のネオンサインを消灯していたが、約100万円をかけて点検整備し5年ぶりに点灯開始。
	11月21日	神戸ポートタワー開業15周年事業として、26日までの6日間にわたって人形劇やまんが映画会、関西汽船や阪急内海汽船、共同汽船、神戸通船などのペア乗船券が当たる謝恩抽選会等を開催。23日には「勤労感謝の日」に因んで市内母子寮の母子約130名を招待。
1979年		
昭和54年	4月28日	神戸ポートタワーの塔頂旗竿に吹き流しと6mの真鯉、緋鯉の鯉のぼりを5月5日まで掲揚。



ポートタワー絵葉書

1979年

昭和54年 12月25日 神戸ポートタワーの展望階から見下ろせる中突堤西側の海倉跡地 294 m²に石灰で書いた、たて 35m×よこ 25mの巨大な申年の年賀状を作成。



巨大な申年の年賀状

1980年

昭和55年 1月2日 3年振りに「利き酒大会」を復活。展望4階で灘の生一本銘柄当てゲームを実施。酒造メーカー38社が40銘柄を出品。240人が参加し、4銘柄を当てた人が5名、1～3銘柄を当てた人は113名で正解者に清酒 1.8l 超特級を、参加者全員に銘入り1合升をプレゼント。

4月4日 入場者 900万人達成。

6月 「ひょうご文化100選」に神戸ポートタワーと神戸国際港湾博物館が入選。

12月27日 神戸ポートタワー南側入口にジャンボ年賀状(4m×3m)を掲出。

1981年

昭和56年 8月8日 みなとの納涼イベントを5年振りに復活。松蔭女子大学軽音楽部、フォークバンド「来夢」、ロックバンド「Adjanda」による神戸ポートタワー南側でのコンサートと夜店の出店。

10月10日 「体育の日」イベントとして「神戸ポートタワー早登り競争」を実施(翌年も実施)。地上1階から展望1階(75m)まで363段を駆け登るもので7才から56才まで56人が完走。1位のタイムは1分38秒。小学生、中高生、青年(19～39才)、中年(40才以上)の4部門。全員に記録証明書と参加賞、標準タイムを上回った36名に賞品をプレゼント。

11月21日 開業18年として、23日までの3日間18才未満の入場者を無料とし、先着2,000人×3日の入場者に記念品をプレゼント。

1982年

昭和57年 8月31日 入場者1,000万人達成。記念品として、練習帆船「日本丸」パネル時計やキャンプ用品をプレゼント。

1983年

昭和58年 3月3日 神戸港開港120年事業として、メリケン波止場と中突堤間の埋め立てに着手。

4月27日 神戸ポートタワー開業20周年事業として、5月8日まで「幼稚園児こいのぼり作品展」を開催。

4月29日 神戸ポートタワー開業20周年事業として、5月1日まで「謝恩大抽選会」を、5月8日まで「瀬戸内海航路観光ポスター展」を開催。

5月3日 神戸ポートタワー開業20周年事業として、展望4階で「生ビール早飲みコンテスト」を開催。

5月9日 第5回目の神戸ポートタワー塗装工事と照明交換工事に着手。塗装面積1万7,196m²、塗料約9.2トン(181×570缶のウレタン樹脂系塗料)を使用。56基の照明のうち22基に約3倍の明るさの高圧ナトリウム灯を導入。総工費1億2,757万円。7月31日完工、8月1日に点灯式。

8月2日 神戸ポートタワー開業20周年事業として、タワー南側で「阿波踊り」を実施。「うず潮連」「うず巻連」「満月連」「競艇連」など40名が踊りを披露。

11月1日 神戸ポートタワー・神戸国際港湾博物館の開業20周年事業として、開業日の21日まで「激動の二十年回顧展」を開催。開業時から20年間の経済の変動、世相の移り変わりの中で様々な消長の波を描きながら、1,000万人の観光客を吸収してきたタワーと博物館を新聞記事から振り返り。

11月21日 神戸ポートタワー開業20周年事業として23日までの3日間、開業時の値段(大人150円、小人80円)で営業し、期間中6,316人が来場。また、展望3階回転レストランではカレーを20年前の値段の80円で販売し、1,400食を完売。地上1階でもかけうどん・かけそばを同40円で販売し3,500食を完売したほか、港めぐりの観光船に1,000人を無料招待。

1984年

昭和59年 6月4日 神戸ポートタワーが関西照明技術普及協会の「照明技術普及賞」を受賞。

8月10日 神戸国際港湾博物館エントランスロビーで「世界の有名タワー観光展」を開催。国内の21タワーと海外の22タワーの写真パネルや航空各社のポスターを31日まで展示。

1985年

昭和60年 3月4日 入場者 1,100万人達成。記念品にユニバーシアード神戸大会の入場券やトレーナーをプレゼント。
4月1日 神戸ポートタワーの入場料金改定。大人 500円、高校生 350円、小・中学生 250円。タワー入場者は博物館無料。

1987年【開港120年】

昭和62年 4月29日 神戸海洋博物館が開館。神戸ポートタワーと神戸海洋博物館を別料金設定。
7月 神戸ポートタワーと神戸海洋博物館が「第1回都心ライトアップポイント表彰」を受賞。
7月20日 神戸ポートタワーの団体休憩所が中突堤中央ビル2階に竣工。
7月25日 第18回みなとこうべ海上花火大会の打ち上げ場所がメリケンパーク南海上に変更されたため、午後7時35分に神戸ポートタワーと神戸海洋博物館の夜間照明を消灯し、花火終了後再点灯するように変更。(以後、毎年実施。)



メリケンパーク竣工

8月 入場者 1,200万人達成。

1989年

平成元年 6月10日 入場者 1,300万人達成。

1990年

平成2年 6月30日 神戸ポートタワー下層階の内外装改修工事竣工。
12月8日 入場者 1,400万人達成。

1992年

平成4年 3月18日 神戸ポートタワーの全面改修工事着工。第6回目の鋼管パイプフレーム塗装工事、エレベーターシャフトのガラス入れ替え、展望5階の金網張りをガラス張りに変更、塔頂部のネオン塔の新替え等の工事を「アーバンリゾートフェア'93」に向けて実施。総工費4億7千万円。7月20日完工。

8月10日 入場者 1,500万人達成。



「第1回都心ライトアップポイント表彰」

1993年

平成5年 9月25日 神戸ポートタワーが3月に選考された「神戸市建築百選'93」の中から「市民大賞」受賞。
10月31日 入場者 1,600万人達成。
11月21日 神戸ポートタワー開業30周年事業として、23日までの3日間「記念抽選会」を開催。また、12月20日まで「神戸ポートタワー開業30周年記念クイズ大会」を実施。

1995年

平成7年 1月17日 午前5時46分、マグニチュード7.3、震度7の兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)が発生。電気、ガス、水道などインフラの供給停止等により、神戸ポートタワーと神戸海洋博物館は4月7日まで営業休止。
2月14日 被災市民を勇気づけるため、21日まで神戸ポートタワーと神戸海洋博物館の夜間ライトアップを再開。ホテルオークラ神戸もルームライトの点灯で「ファイト」の文字を作成。



震災後、ライトアップ再開



メリケンパークの被災



ポートタワー周辺の被災

4月8日 神戸ポートタワーと神戸海洋博物館を11日まで無料開放し 6,000人が来場。
10月10日 「がんばろう神戸復興フェスタ」を開催。神戸ポートタワーと神戸海洋博物館を無料開放し、タワー 2,953人、博物館 2,320人が来場。

1996年
平成8年 8月6日 入場者 1,700万人達成。

1997年【開港130年】

平成9年 2月14日 神戸ポートタワーで「バレンタインデー」イベントを実施。男女ペアでの入場者は大人2名で800円。13時30分～16時と17時～19時30分に先着各50名（合計200名）を対象に女性占い師による無料恋占い（タロットカード、姓名判断）を実施。（翌年も実施。）



豆まき

1998年
平成10年 2月3日 昭和61年以降13年振りに「節分の日」豆まきを復活。
11月19日 入場者 1,800万人達成。

2001年

平成13年 1月9日 神戸ポートタワーの内装や床面、トイレ、サイン等のリニューアル工事着工。
3月24日 完工。
1月17日 神戸21世紀・復興記念事業「ひと・まち・みらい KOBE 2001」が開幕。オープニングイベントとして、神戸ポートタワー展望5階と神戸海洋博物館からのレーザー光線によるショーを実施。
3月25日 神戸ポートタワーがリニューアル・オープン。内装の全面改修や地上1階のトイレの全面改修、床面タイルの張り替え、地上1～2階の模様替えなどで、総工費9,093万円。
10月 入場者 1,900万人達成。
10月18日 第83回全日本タワー協議会秋期総会を神戸ポートタワーで開催。全国の19タワー、42名が参加。
11月30日 神戸ポートタワー南入口にジャンボクリスマスツリーのイルミネーションを12月25日まで設置。高さ9m、底辺3m50cm。



1,800万人達成

2002年

平成14年 2月14日 神戸ポートタワーで「バレンタインデー」イベントを実施。営業時間を22時まで2時間延長し、展望5階でスイートバレンタインデーカード・恋人宣言書に氏名を記入して記念スタンプを押したものをカップルにプレゼント。45組90枚を配布。
8月10日 神戸ポートタワー地上1階の「メリケンカフェ」と展望3階の「スカイラウンジ」がリニューアルオープン。
9月7日 神戸ポートタワー地上2階の「メリケン食堂」とお土産を販売する「神戸セレクション」がリニューアルオープン。
12月22日 神戸ポートタワー展望5階で歌手「チカ☆チカ（女性2人組）」をゲストに迎え、初めてのクリスマスコンサートを開催。
12月26日 神戸ポートタワー南入口にジャンボ門松（正月飾り）と大凧を掲出。



恋人宣言証明書発行

2003年

平成15年 1月20日 神戸ポートタワー展望5階で初めての結婚式を挙行。結婚宣言書にサインをしてお祝いの花束や記念品をプレゼント。（以後 計5回開催。）
7月3日 神戸ポートタワー展望5階で初めての「七夕まつり」を7日まで開催。高さ5mの青笹10本に、招待した名倉幼稚園児35名や観光客が短冊を飾りつけ。
11月20日 神戸ポートタワー開業40周年事業として、24日までの5日間「神戸ポートタワーまつり」を開催。毎日、先着200名にタワー・ストラップをプレゼント。アンケートの回答者には抽選で中国・天津への船旅（ペア1組）や九州、四国への船旅、神戸港クルーズ、ホテル宿泊券などの景品をプレゼント。その他、22日には展望5階で「餅つき大会」、22日～23日にはタワー南側でステージイベントを開催。また、22日～24日は「港のにぎやか市」、23日はバナナの叩き売り（10箱）も実施。地上1階では昭和35年～45年の「神戸港写真パネル展」（14枚）を開催。



タワー展望5階の空中結婚式

2004年

- 平成16年 1月31日 神戸ポートタワー展望4階で初めての「ひなまつり」を3月3日まで開催。7段飾りの雛人形を展示。2月28日には灘区の微笑幼稚園児 140名を招待。
- 3月24日 神戸ポートタワー展望5階でハワイの Le Jardin Academy の生徒 (11才~17才) 30名が「Music Brings us Together 2004」と題してハワイアン演奏会を開催、フラダンスも披露。
- 10月3日 初の試みとして、「神戸観光の日」で神戸ポートタワーを無料開放、4,402人が来場。神戸海洋博物館は改装で休館中。(以後 計4回開催。 無料入場者 計12,832人。)
- 10月23日 乳がん撲滅運動の啓発キャンペーンに協賛し18時から22時までピンク色にライトアップする「ピンクリボンキャンペーン」を実施。(以後、毎年実施。)
- 11月1日 関西4タワー会議で「三都4タワーめぐりスタンプラリー」を平成17年5月3日まで実施。
- 12月16日 入場者 2,000万人達成。サインボードの除幕式と風船 100個を放空し、認定証と記念品をプレゼント。

2005年

- 平成17年 6月19日 CO2削減ライトダウンキャンペーンに協賛。神戸ポートタワーと神戸海洋博物館、メリケンパークの夜間照明を消灯。
- 8月26日 神戸ポートタワー南側に「真夏のクリスマスツリー」を31日まで設置。
- 12月24日 神戸ポートタワーと神戸海洋博物館の夜間照明をクリスマスイベントとして終夜点灯。
- 12月31日 神戸ポートタワーと神戸海洋博物館の夜間照明を年越しイベントとして終夜点灯。

2006年

- 平成18年 6月18日 夏至の「ブラック・イルミネーション2006」に協賛し、神戸ポートタワーと神戸海洋博物館の夜間照明を20時~22時まで消灯。(以後、毎年実施。)
- 10月1日 第1回「展望の日」。先着 300名に各タワーのオリジナル賞品を記念品としてプレゼント。



ピンクリボンキャンペーン

2007年【開港140年】

- 平成19年 1月1日 神戸開港140年記念として、正午から特製カレンダーを140名にプレゼント。
- 9月13日 全日本タワー協議会第1回実務者会議を京都タワーで開催。(以後、毎年開催。)
- 12月24日 入場者 2,100万人達成。

2008年

- 平成20年 5月24日 神戸で開催された環境サミット大臣会合に協賛し、神戸ポートタワーと神戸海洋博物館の夜間照明を24日と25日の20時から消灯。
- 6月19日 神戸ポートタワーのイメージキャラクター「キャプテンタワー君」デビュー。
- 9月2日 (社)神戸港振興協会設立50周年。
- 10月1日 第3回「展望の日」。全国タワーで初めて共通のグッズ「19タワーメモ」を作成。先着 300名にプレゼント。

2009年

- 平成21年 6月19日 新型インフルエンザの流行で関西への観光客が激減したため、「観光安心宣言『京都&神戸に来てね』」キャンペーンを実施。20日に神戸ポートタワーと神戸海洋博物館を無料開放。タワーに 3,882人、博物館に 3,419人が来場。
- 7月17日 新型インフルエンザの風評被害によって観光客が激減した事を受けて展開された〜行こう！神戸キャンペーン〜に協賛して、「みなと神戸元気アップ！キャンペーン」を実施。8月16日までの期間中、神戸ポートタワーを無料開放し、96,099人が来場。
- 8月3日 夜間イベント「KOBE スイング・オブ・ライツ」に協力して、23日まで神戸ポートタワー展望階にレーザー光線発射装置を設置。20時と21時からの2回、ジャズ音楽とともにレーザー光線を照射。
- 10月1日 第4回「展望の日」。新たに作成した「19タワーランプ」を先着 500名にプレゼント。

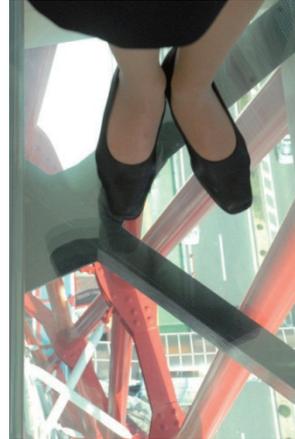
2009年

平成21年 11月24日

(社)神戸港振興協会設立50周年事業として、タワーの全面改修に着手。外部塗装の剥離・塗り替え、LED 7,040個の設置、各フロア内装の新装、エレベーター内装の新装、地上1階トイレのオストメイト化、展望5階トイレの新設、展望3階トイレの改装、施設案内表示の4か国語化、展望5階天井に光ファイバー1,500本による季節の星座演出、展望1階床面の一部ガラス化(スカイウォーク)、地上1階から2階へのエレベーターの新設、壁面展示物のリニューアルなど総工費3億3千万円。4月27日完工。



展望5階「季節の星座」



スカイウォーク



LED照明

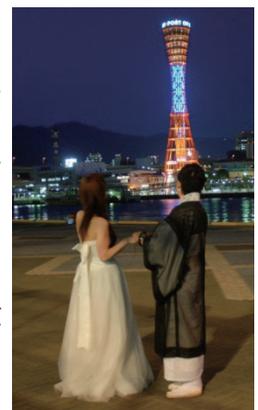
11月29日 神戸ポートタワーの展望階を初めて貸し切り運用。営業終了後に150人規模の音楽パーティを開催。(以後3回開催)

12月3日 ルミナリエ開催期間中の土・日曜日のみタワーを2時間延長して21時まで営業。

2010年

平成22年

- 1月1日 神戸ポートタワー「初日の出展望」で先着500名に「20タワークリアファイル」をプレゼント。
- 2月9日 キャプテンタワー君が初めて海外(香港)へ出張。17日までゆるキャラパレードやパフォーマンスステージに参加。以後、各地催し物に参加。
- 3月16日 神戸ポートタワーの内外装の改装工事が完了。16日、17日で内覧会を実施。
- 3月19日 展望階の足場が撤去され、営業再開。
- 4月28日 神戸ポートタワー改修工事終了。グランド・オープン。LED点灯開始。「みなと振興友の会」発足。
- 4月30日 通天閣から5月30日まで平成ビリケンさん展望4階に来場。
- 5月8日 リニューアル・イベント開催。タワー南側にステージを設置、月末までの毎土・日曜日にコンサートを実施。
- 5月30日 階段上りイベント「チャレンジ476」を開催。参加者578名。
- 6月6日 「神戸プロポーズの日」として砂時計パターンを初点灯。毎月、第1日曜日の午後7時59分から8時1分の間に実施。
- 7月7日 七夕まつりのライトダウン。20時~22時まで消灯。展望5階ではキャンドルナイトを実施。
- 7月27日 神戸ポートタワー南入口に「キャプテンタワー君」の記念撮影用「顔出し」を設置。
- 8月3日 みなとこうべ海上花火大会に合わせてLEDを7日まで「花火パターン」で演出。
- 9月1日 「防災の日」でLEDを「緑色」に点灯。
- 9月20日 敬老の日に合わせて65才以上のポートタワーホテル宿泊客64名を神戸ポートタワーに無料招待。
- 10月1日 第5回「展望の日」。新たに作成した「20タワークリアファイル」を先着300名にプレゼント。「All-Japan 20 Towers・スタンプラリー」がスタート。
- 11月9日 入場者2,200万人達成。
- 11月12日 家庭内暴力防止キャンペーン「パープルリボン」に協賛してLEDを「紫色」に点灯。(以後、毎年実施。)
- 11月14日 糖尿病予防キャンペーン「ブルーリボン」に協賛してLEDを「青色」に点灯。(以後、毎年実施。)
- 11月21日 神戸ポートタワー開業47周年事業として、「20タワークリアファイル」を470人の来場者にプレゼント。
- 12月20日 クリスマスイベント「キャンドルナイト& Love Love ツリー」を実施。(以後、毎年実施。)



プロポーズの日

2011 年

- 平成 23 年 2 月 14 日 神戸ポートタワーの塔頂に 7 日から「バレンタイン旗」を掲揚。
(以後、毎年実施。) 展望 4 階に「Love Love Key Tower」の鍵
棚を設置。
- 2 月 26 日 6 年振りに神戸ポートタワー展望 4 階で「ひなまつり」イベント
を開催。入場者に 20 タワークリアファイルをプレゼント。3 月
6 日にはみなと保育所園児 14 名を招待して「うれしいひなまつ
り」を合唱。
- 3 月 13 日 3 月 11 日に発生した東北・太平洋沿岸地震(東日本大震災)で被災され
た方々への哀悼の意を込めて、13 日から 4 月 1 日を除いて 10 日まで神戸
ポートタワーと神戸海洋博物館の夜間照明を消灯。
- 4 月 1 日 一般社団法人神戸港振興協会に移行。世界自閉症啓発デー「ライト・イッ
ト・アップ・ブルー」に協賛して LED を「青色」に点灯。(以後、4 月
2 日に毎年実施。)
- 4 月 11 日 神戸ポートタワーの LED を 6 月 4 日まで「ガンバロウ! 東日本」のスク
ロール文字で点灯。
- 4 月 28 日 神戸ポートタワーリニューアル 1 周年記念イベントを実施。「チャレンジ
476」の 1,000 人目に記念品をプレゼント。
- 7 月 16 日 神戸ポートタワーの塔頂に 31 日まで「海難 0 旗」を掲揚。(以後、毎年実施。)
- 8 月 2 日 「三都の味、塔(タワー)で彩る」と銘打って、サークル K サンクスで 15 日までの間、神戸ポートタワー
監修「焼きそば」と「おむすび」を販売。
- 10 月 1 日 第 6 回「展望の日」。新たに作成した「20 タワーポストイット」を先着 300 名にプレゼント。展望 5 階で
女性ユニットシンガー「YA-KYIM」が全日本タワー協議会テーマソング「TOWER!」を熱唱。
- 10 月 30 日 関西 4 タワー「YA-KYIM」弾丸ツアーで来神。ハロウィンイベントを開催中の神戸ポートタワーで再び
「TOWER!」を熱唱。
- 11 月 11 日 「ポッキーの日」イベントでポッキー&ブリッツを 1,111 名のタワー来場者にプレゼント。
- 11 月 21 日 神戸ポートタワー開業 48 周年で階段上りイベント「チャレンジ 476」を実施。
- 12 月 23 日 神戸ポートタワーのクリスマスイベントで展望 5 階でジャズライブとキャンドルナイトを開催。



ガンバロウ! 東日本



Love Love Key Tower

2012 年

- 平成 24 年 1 月 1 日 神戸ポートタワーの塔頂に 3 日まで「日の丸」を掲揚。
(以後、毎年実施。)
- 7 月 2 日 神戸ポートタワー夜間照明を 23 時から 22 時までに短縮。
- 10 月 1 日 第 7 回「展望の日」。新たに作成した「20 タワー和手拭い」
を先着 300 名にプレゼント。
- 11 月 21 日 神戸ポートタワー開業 49 周年で塔頂に「神戸港振興協会旗」
を掲揚。
- 12 月 22 日 タワー営業時間を 25 日まで 19 時から 21 時までに延長。



クリスマス・キャンドルナイト

2013 年

- 平成 25 年 3 月 11 日 神戸ポートタワーの塔頂に東日本大震災の犠牲者を追悼の意を表し、半旗を掲揚。
- 3 月 23 日 神戸ポートタワーと神戸海洋博物館の夜間照明を「地球温暖化防止キャンペーン」に協賛して 20 時 30 分
~21 時 30 分まで消灯。
- 6 月 19 日 「ロマンスの日」に協賛して LED を「青色」に点灯。
- 7 月 15 日 神戸ポートタワー開業 50 年を祝って通天閣の「ビリケンさん」、京都タワーの「たわわちゃん」、空中庭園
展望台の「そららちゃん」が来神。タワーでのセレモニーや「Kobe Love Port みなとまつり 2013」の
ステージイベントに「キャプテンタワー君」とともに参加。
- 7 月 18 日 50 周年記念ロゴマークを決定。
- 8 月 3 日 第 43 回みなとこうべ海上花火大会において、「祝神戸ポートタワー 50 年」の文字
花火を実施。
- 8 月 8 日 入場者 2,300 万人達成。
- 10 月 1 日 第 8 回「展望の日」。新たに作成した「20 タワー重ねメモ帳」を先着 300 名に
プレゼント。



2013 年

- 平成 25 年 10 月 2 日 神戸ポートタワー開業 50 周年の 50 日前で、入場者先着 50 名に記念シールをプレゼント。
- 10 月 26 日 「兵庫県民への臓器提供に関する意思表示の啓発及び促進運動」のグリーンリボンキャンペーンに協賛して 30 日まで LED を「緑色」に点灯。
- 11 月 15 日 神戸ポートタワー地上 1 階にグリコポッキーの空き箱で作った「ポッキータワー」を設置。
- 11 月 19 日 50 周年事業の一環として、神戸ポートタワー地上 3 階で第五管区海上保安本部による「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」入賞作品展を 12 月 6 日まで開催。
- 11 月 20 日 神戸ポートタワーの塔頂に 12 月 31 日まで「神戸ポートタワー 50 周年旗」を掲揚。50 周年イベントとして 22 日まで 50 年前の入場料（大人 150 円、小人 80 円）で営業。24 日までの 5 日間で 15,444 人が入場。
- 11 月 21 日 神戸ポートタワー開業 50 周年記念セレモニーを開催。テープカット、くす玉割り、風船 150 個の放空やステージイベント、フォトコンテスト（～平成 26 年 1 月 10 日）など多彩に展開。
神戸新聞一面企画記事、ラジオ関西「神戸ポートタワー 1 day 特集」放送実施。



神戸ポートタワー開業 50 年史

編集：一般社団法人神戸港振興協会
編集者：森田 潔、山脇 美香
発行：一般社団法人神戸港振興協会
発行者：鶴崎 功
発行日：2013 年（平成 25）12 月 27 日